

松本大学松商短期大学の国際化戦略ビジョン

【背景】

本学は、「自主独立」「地域社会への貢献」という建学の精神に基づき、幅広い教養並びに基礎的能力と専門的能力を身につけ、現代社会における具体的な問題把握力と課題解決能力を備えた人材育成を目指している。この、「地域社会への貢献」を具現化する上で、本学の国際化・グローバル化は重要な要素であり、海外進出を進める企業が増加する長野県においては、グローバル社会に対応した人材育成が急務となっている。

また、長野県は観光立県を目指しており、長野県を訪れる観光客の増加を受けて、県内においても異文化理解力や外国語によるコミュニケーション力の向上が求められているところである。

このような地域社会の国際化・グローバル化が進展することに伴って、多文化共生社会に対応した能力の育成は不可欠であり、地域社会の松本大学松商短期大学部に対する期待は大きい。

【目的】

本学はこのような地域社会の要請に真摯に応え、多文化共生の時代を生き抜く地域の中核的人材育成の拠点とならねばならない。すなわち、今こそ、国際社会が求める「持続可能な開発のための教育」(Education for Sustainable Development : ESD) が重要であり、課題を見つけ、考え、自ら取り組むことのできる人材こそが国際化・グローバル化する地域社会にも求められているのである。本学は、このような人材育成を通して、地域社会への貢献を果たしていきたいと考えている。

【ビジョン・方針】

①海外大学等との連携

海外の大学との連携を強化する。

②学内の国際化

①により学内に留学生を呼び込むことで学内の国際化・グローバル化を促進する。

③学生の海外留学の促進

①により本学学生の海外留学・海外体験の機会を増やす。また、4学期制を活用した留学プログラムを開発し、学生の海外留学を促進させる。

④外国語教育の充実

英語を中心とした外国語教育の充実を図る。

⑤外国における就業力の育成、外国人留学生の日本での就職支援

多文化共生社会におけるグローバル対応力（グローバル・コンピテンス）の強化を図

る取り組みを実施し、外国における就業力を育成するとともに、外国人留学生の日本での就職に向けて支援する。

⑥地方自治体・企業・地域住民等のグローバル化への貢献

上記①～⑤による人的資源を地域社会との連携の中で活用し、地域社会の国際化・グローバル化に資する取り組みを進める。

【数値目標】

本学の国際化戦略ビジョンを推進するため、以下を 2020 年までの中期目標として設定する。

- ① 在学中の海外留学・海外体験者延べ数を収容定員の5%程度に引き上げる。
- ② TOEIC スコア 400 点以上の学生を収容定員の 10%程度に引き上げる。